

SUPER-FJ Race report



S-FJ もてぎ・菅生シリーズ 第3戦

2021年 5月 16日 天候:雨 参加11台



《公式予選》

スーパーFJもてぎ・菅生シリーズ第3戦の舞台は、前回に引き続きスポーツランド SUGO。エントリーは前回より2台増の12台となり、こと SUGO では昨年、多くのレースが選手権成立ギリギリの台数だったこともあり、シリーズの統合は正解だったと言えるだろう。

さて、ここまでの2戦はウィナーが異なり、いずれも初優勝を飾っている。開幕戦を制した宇高希選手は就職に伴い、活動を休止したため出場していないが、前回のウィナー佐藤樹選手には連勝の期待がかかるとともに、3人目のウィナー誕生なるかも焦点のひとつとなった。

スーパーFJ は予選、決勝を日曜日に併せて行う、1デイイベント。他のレースや練習走行が行われた土曜日までは好天が保たれていたが、日曜日は高めの降水確率が告げられていたが、なんとか午前の予選はドライコンディションがキープされた。なお、1台が出走を取り消し、11台での争いとなった。開始早々、内藤大輝選手が4コーナーでエンジンが止まり、コース上でストップしたため、赤旗が出されることに。7分ほど中断した後、再開

してからもほぼ2周したところで、SP コーナーでクラッシュした車両があり、また赤旗中断と荒れ模様の展開となった。

そんな中、まずは佐藤選手がトップに立ち、これに続いたのは前回欠場の四倉悠聖選手と伊藤慎之典選手。次の周に伊藤選手がトップに躍り出るも、ここで2回目の赤旗中断。仕切り直された後も、1コーナーで長谷部一真選手がオーバーラン、四倉選手がスピンするなど、2回の中断で何か集中力をかき回された感もあった。

しかし、そんな状況においても、速さを見せたのが佐藤選手だった。2回目の再開から間もなく1分 29 秒 750 をマーク。1周置いてラストアタックで1分 29 秒 379 にまで短縮を果たして、3 戦連続ポールポジションを獲得することになった。

佐藤選手に続いたのは1分 29 秒 540 の伊藤選手、そして1分 29 秒 563 の四倉選手だったが、ピットロード出口の速度超過により、ともに2グリッド降格のペナルティが。これにより、1分 29 秒 616 を記していた長谷部選手、そして1分 30 秒 149 を記していた前田大道選手が2番手、3番手に繰り上がることに。また前回3位の松山雄大選手は6番手につけていたが、複数回の速度超過により、グリッド最後尾からのスタートが命じられることとなった。

ポールポジション:佐藤樹選手(群馬トヨペット TEAM RINOA ED)

「ちょっとイライラしました、赤旗の連続には。だから全然満足していません、8秒台出せたと思うので。最後もセクター1でシフトミスしていますし、後半のセクターも自己ベストで回れていなかったのも、最後の1周をまとめられなかったのが悔しいです。その分、決勝を大差で勝てればいいな、と思っています」



予選2番手:長谷部一真選手(ALBREX ED RD10V)

「ちょっとミスも多くて、ベストタイム出した周もミスがあったし、あんまりセッティングがいい方向に向いていなかったようです。それは決勝に向けて戻すなりして、表彰台はなんと確保したいと思います」



予選3番手:前田大道選手(ELEVレーシングドリーム制動屋)

「昨日とはセッティングを若干変えて挑んだんですが、それが裏目に出てしまって。それでも、なんとか 30 秒1までタイムを上げ、最後のラップでセクター1かなり速かったんですが、ハイポイントとレインボーでかなりリヤを流して、かなりロスしてしまいました。この後セットも少し変えて、また思いっきり走れるように調整しようと思っているので功を奏するか、裏目に出るかですね」





決勝レース

予選でクラッシュした伊勢屋貴史選手、エンジントラブルに見舞われた内藤選手も無事修復が完了し、本来最後尾に並ぶはずだった、松山選手の後方からスタートを切ることとなった決勝レース。ただ、それまでなんとかドライコンディションを保ってきた空から、直前になって小雨が落ち出し、不穏なムードを漂わせていた。

上位陣はそれぞれ無難なスタートを切って、佐藤選手、長谷部選手、前田選手の順で1コーナーをクリア。その後方では、オープニングラップのうちに四倉選手が伊藤選手と順位を入れ替え、さらに9番スタートだった松山選手が6番手に浮上する。

この頃まだ、雨は走行に支障を来すまでには至っていなかったものの、佐藤選手がファステストラップとなる1分30秒840を記した3周目以降、にわか勢いを増したからたまらない。

4周目にラップタイムは2秒落ち、5周目にはトップの佐藤選手ですら、1分35秒を記す



のが精いっぱい。これで一気に後続の2台が差を詰める。長谷部選手は SUGO の雨の経験、前田選手は豊富なレース経験が活かされた格好だ。同時に一時は三つ巴だったトップ争いは、6台が縦に連なるようになっていく。その後やや雨足が弱まった状況において、ひときわ元気だったのが四倉選手。7周目に3番手、そして8周目の馬の背で長谷部選手を捕らえて、2番手に躍り出る。

9周目、再び雨は強くなり、佐藤選手が馬の背でブレーキをロックさせ、あわやコースアウト的一幕も。さらに前田選手にかわされたばかりの長谷部選手がオーバーラン。長谷部選手は続く SP コーナーでスピンも喫し、最後尾まで順位を落とす。逆に勢いに乗る前田選手は、10 周目の最終コーナーで四倉選手を抜いて2番手に浮上。

前田選手と四倉選手の2番手争いが、その後も激しく続いたことで佐藤選手は、ようやく前だけ向いて走れるようになり、この日初めて1秒のリードを築く。11周目の2コーナーで前田選手に仕掛けた四倉選手だったが、逆転ならず勝負に決着が。

佐藤選手が2連勝を飾り、2位は前田選手が獲得。3位は四倉選手で、松山選手と伊藤選手を僅差ながらも退けた。そして最後尾スタートだった内藤選手は地道に順位を上げ続け、最終ラップのゴール間際に大川烈弥選手を抜いて、6位でゴールとなった。



次回のもてぎ・菅生シリーズは9月4～5日に、もてぎで第4戦、第5戦のWヘッダー大会として、またスーパーFJ ジャパンチャレンジ第4大会とのWタイトルでの開催となる。しばらくインターバルは開くが、果たして佐藤選手の勢いは保たれるか？そして遠征ドライバーたちとどう渡り合うか、注目は尽きない戦いになりそうだ！



優勝:佐藤樹選手(群馬トヨペット TEAM RINOA ED)

「急に来ましたね、雨が途中で。そこが問題で、逃げ切るのがベストだったんですけど、今いちペースが上げられず、防戦一方になってしまっ。辛かったですね、常に誰かが後ろにいたので。馬の背ではロックもさせちゃって、『やったかな！』と思ったんですけど、なんとか粘れて良かったです。課題も多いレースでしたが、勝てて良かったです」

2位:前田大道選手(ELEVレーシングドリーム制動屋)

「途中、危なかったですね。でも、なんとか雨の走りに変えて、上がってこられたので良かったです。ここはベテランの強みを発揮できました(笑)。今回、スポット参戦ではあるんですが、今は若手の応援ということでやっているんで、このシリーズに誰も出ないということであれば、次のもてぎも僕が出ようと思っています」

3位:四倉悠聖選手(ZAP 日本平中自動車 10V ED)

「けっこう、めちゃくちゃなドライビングになってしまったんですけど、FJで雨を走るのは初めてで、SUGOも初めてと、けっこう初めてだらけの中では、なんとか吸収力の早さを活かして、表彰台に上がったのかと思います。予選で焦ってしまった分を決勝で取り返して、落ち着いて走ることができました」

2021 SUGO Champion Cup Race Series Rd.2

2021 JMRC TOHOKU RACE SERIES Rd.3

2021 JAF SUGO CIRCUIT TRIAL CHAMPIONSHIP Rd.1

2021.5.15-16 SUGO INTERNATIONAL RACINGCOURSE



主催：株式会社菅生／菅生レーシング

2021 SUGO Champion Cup Race Series Rd.2 JAFもてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第3戦 公式予選正式結果表

START : 9:45:00

FINISH : 10:18:00

2021.05.16		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)				天候：晴れ		コース状況：ドライ		発表		:
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	BestTime	Ave. Km/h	Laps	Behind			
1	81	SFJ	1 佐藤 樹		MYST KK-SⅡ	1'29.379	144.457	7/ 7				
2 ※	10	SFJ	2 伊藤 慎之典		ZAP チャリ走! 10vED	1'29.540	144.197	7/ 7		0.161		
3 ※	13	SFJ	3 四倉 悠聖	RD10V	ZAP日本平中自動車10VED	1'29.563	144.160	7/ 7		0.184		
4	36	SFJ	4 長谷部 一真	RD10V	ALBIREXEDRD10V	1'29.616	144.075	7/ 7		0.237		
5	72	SFJ	5 前田 大道	KK-SⅡ	ELEVレーシング ト リーム制動屋	1'30.149	143.223	6/ 7		0.770		
6 ※	15	SFJ	6 松山 雄大	KK-SⅡ	M's Garage FER KKSⅡ	1'30.155	143.213	7/ 7		0.776		
7	17	SFJ	7 平 裕介	R&D 10V	ZAP_東多賀ss_10vED	1'31.363	141.320	7/ 7		1.984		
8	35	SFJ	8 大川 烈弥	KK-S	7&E ト ョンド KKS G I A E D	1'31.611	140.937	6/ 7		2.232		
9	5	G	1 安藤 弘人	S-FJ	ZAPRSPRIMO10VED	1'31.611	140.937	7/ 7		2.232		
----- 以上予選通過 -----												
55	G		伊勢屋 貴史	RD10V	7&E ☆あやし眼科☆10V ED	2'20.772	91.719	2/ 2		51.393		
22	SFJ		内藤 大輝		RCTI Raiseup ED	計測出来ず						

参加台数：11台 出走台数：11台

予選通過基準タイム (130%) 1' 56.342

赤旗中断 ①9:47:18 ~ 9:55:00 ②10:00:51 ~ 10:12:00

※No. 10, No. 13, No. 15の車両は、2021SUGO4輪一般競技規則 第7章第43条3. (ヒットレイン速度違反(ヒット出口))により、2グリッド降格のペナルティが科された。
(裁定時刻 10:20)

※No. 15の車両は、2021SUGO4輪一般競技規則 第7章第43条3. (ヒットレイン速度違反(ヒット出口)) (2度の速度違反の為)により、最後尾スタートのペナルティが科された。
(裁定時刻 10:20)

2021 SUGO Champion Cup Race Series Rd.2 JAFもてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第3戦 決勝正式結果表

START : 14:30:49

FINISH : 14:50:01

2021.05.16		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)		天気：雨		コース状況：ウェット		発表		
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap
1	81	SFJ	1 佐藤 樹		MYST KK-S II	12	19' 12.957		134.382	1' 30.840 3
2	72	SFJ	2 前田 大道	KK-S II	ELEVレシング ト リム制動屋	12	19' 13.501	0.544	134.319	1' 30.933 3
3	13	SFJ	3 四倉 悠聖	RD10V	ZAP日本平中自動車10VED	12	19' 16.108	3.151	134.016	1' 31.707 3
4	15	SFJ	4 松山 雄大	KK-S II	M's Garage FER KKS II	12	19' 16.951	3.994	133.918	1' 30.849 3
5	10	SFJ	5 伊藤 慎之典		ZAP チャリ走! 10vED	12	19' 17.068	4.111	133.905	1' 31.594 2
6	22	SFJ	6 内藤 大輝		RCT1 Raiseup ED	12	19' 23.886	10.929	133.120	1' 32.264 7
7	35	SFJ	7 大川 烈弥	KK-S	7&E ト ョンド KKSGIAED	12	19' 24.082	11.125	133.098	1' 32.138 3
8	17	SFJ	8 平 裕介	R&D 10V	ZAP_東多賀ss_10vED	12	19' 26.313	13.356	132.843	1' 31.643 3
9	5	G	1 安藤 弘人	S-FJ	ZAPRPRIMO10VED	12	19' 30.470	17.513	132.371	1' 32.653 2
10	36	SFJ	9 長谷部 一真	RD10V	ALBIREXEDRD10V	12	19' 35.067	22.110	131.854	1' 30.937 3
11	55	G	2 伊勢屋 貴史	RD10V	7&E ☆あやし眼科☆10V ED	12	19' 55.885	42.928	129.558	1' 33.234 2
----- 以上完走 -----										

参加台数：11台 出走台数：11台 完走台数：11台

ベストラップ： 81 佐藤 樹 1' 30.840 3/12 142.133km/h

